

Community Medicine

— 地域医療の架け橋 —

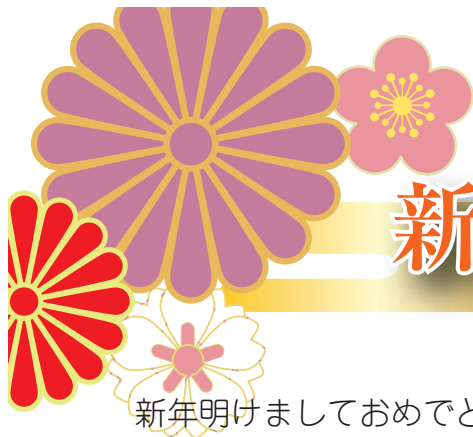
2020年冬号

第 62 号

つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町2丁目1-1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>



新年のご挨拶



院長 大友敏行

新年明けましておめでとうございます。

昨年は地震や台風災害が多い中、令和の時代の始まりの行事が行われ、普段は何気に過ごしている我が国の歴史と伝統に触れる事が出来て意義深い一年でありました。秋にはラグビーワールドカップが日本で開催され、外国人選手も含めた日本代表が ONE TEAM を掲げ決勝リーグに進出する大活躍を見せ、私も俄かファンではありましたが大いに盛り上がりました。このように一年を振り返ると予想できることもありますが、その中に予想外の出来事が生じ、それらが相まって時を刻んでいくのが分かります。今年はいよいよオリンピック・パラリンピックの東京大会の開催年です。今という時間が一瞬の間に過去に代わるのは昔も現代も一緒ですが、多すぎて一年間の出来事でさえまとめるのが大変です。時間は空間が動くとき生じるという考え方がありますが、時間が増えたのは世の中が変化するスピードが一段と増した証でしょう。

我が神戸中央病院はこれから何処に向かって進んでいくのか。引かれて
いる線路は地域包括ケアを進めることにより、地域住民を生涯
守り抜く方向と決まっています。超高齢化社会への大きな変化
過程にあって、今年もさらに早送りのスピードは上がりそう
です。職員一同スピード感を持って人生百年時代の基礎を作る
歴史的な大プロジェクトの達成に向け、地域の先生方と共に
今年も前進して参る所存です。

本年が皆様方にとり、幸多い一年となりますようお祈り
申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





近隣医療機関のご紹介

あおきクリニック

〒651-1245 神戸市北区谷上東町8-6 TEL 078-586-3500

診療科目：
麻酔科

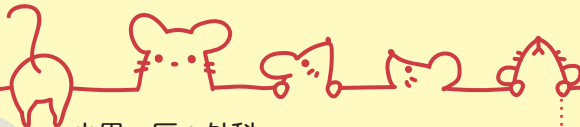
診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
16:00~19:00	×	●	×	●	×	※	×

※土曜日は14:30~17:00



青木裕司 先生

平素よりJCHO神戸中央病院の先生方ならびに地域連携室ほかパラメディカルの皆様には大変お世話になり今日の私のあるのも諸兄のご厚情のおかげと心から感謝致しております。旧社会保険神戸中央病院を退職し谷上にてペインクリニック医院を開設してからもう、干支が一周してしまいました。当時はペインクリニック自体の知名度が低く、ペットを連れてきたりクリーニングを持って来られたりと、ネタのような話も実際にありました。腰痛肩こり等でお悩みの患者さん、潜在需要は無尽蔵！と明るい明日を夢見て頑張ってきましたが10年以上経っても状況はあまり変わらず、予約表がびっしり埋まることは滅多にありません。麻酔を打って一時的に痛みを止めるだけ、という誤解があるようですがあくまでも痛みの軽減・解消を目指しております。加齢による退行変性自体が「治る」ことはありません。でも痛みがなくなったら患者さんは「治った」と言って大喜び、私もやり甲斐を感じて幸せいっぱいです。急性・慢性の痛みでお困りの患者さんどうぞご紹介ください。予約制ですが予約なしでお越しになった患者さんも、少しお待ちいただきますが必ず診させていただきます。



年男ご紹介



黒 厚：外科

庚子の新年おめでとうございます。雑業に溺れ、子育てを頂く我が身に気付きもせず、徒に過ごす日々であります。還暦でどうなるものでもないですが、沈む夕日が美しいと思えるひと時を味わえる一年にしたいものです。



桑山 一行：脳神経外科

明けましておめでとうございます。当院に赴任して2年が経ちました。患者さん一人一人と向き合い、さらに地域医療に貢献したいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。



米田 充：内科

健診の外国人にまぐれで英語が通じたので、今後勉強をしてもう少しうまくになりたい。なるべく若い人の邪魔にならない様仕事して行こうと思うので、24才、36才、48才の子年の皆様、私の方まで頑張って下さい。



小中 義禎：消化器内科

新年おめでとうございます。当院に赴任して早や4年になるとうとしています。その間に専門医を取得したり、大学の講義に1年間通ったりと、地域医療により一層貢献できるよう日々研鑽を積んでまいりました。これからも地域の皆様が安心して治療が受けられるよう日々精進して参ります。本年もよろしく願います。



柴田 敏章：耳鼻いんこう科

医者になって24年、月日の流れは早く、これまでの人生の半分を医師として過ごした計算になります。引き続きスキルを磨き、自らの専門性の追求と共に、求められる地域医療のニーズに答えられるよう、バランスの取れた医療を行っていく所存です。



西原 孝明：腎臓内科

明けましておめでとうございます。当院に赴任して9ヶ月が経ちます。これからも日々精進して参りますので、ご指導のほど宜しく願い申し上げます。



三田 正樹：消化器内科

明けましておめでとうございます。当院に入職して1年半が過ぎました。これからも消化器内科の専門医として、微力ながら地域医療に貢献できればと思っております。今年も宜しくお願い致します。



水谷 融：外科

明けましておめでとうございます。当院に赴任して2年9ヶ月が経ちます。今後少しでも皆様のお役に立てるよう日々精進して参ります。本年も何卒よろしく願い申し上げます。



第1部

第16回 JCHO神戸中央病院 市民医療セミナー開催の様子



知って安心 女性に優しい医療のお話
～昔と今で病気はこれだけ変わりました～

「ライフステージからみた女性の疾患と治療」

JCHO神戸中央病院 婦人科 辰巳 弘



この度、市民医療セミナーにご参加いただき誠にありがとうございました。年齢により罹り易い疾患が異なるだけでなく、治療方針が大きく異なることも、婦人科の特徴です。子宮や卵巣を温存するべきなのか、摘出するべきなのか…治療方針に迷われた際は、ぜひ今回のセミナーをご参考いただければ、と思います。疾患の早期発見により、体に優しい治療法も選択いただけますので、お困りのことがございましたら、お気軽に外来でご相談くださいますよう、よろしくお願いいたします。

「乳がんのはなし」

JCHO神戸中央病院 乳腺外科 西尾 実



先日は絶好の行楽日和の中、多数ご参加頂き、誠に有難うございました。日本では乳がんにかかる女性が年々増加しています。その一方で、乳がんの治療は非常に進歩してきており、適切な治療を行えば、十分治っていただける病気でもあります。早期発見により、治っていただける確率も上がります。40歳以上の女性には2年毎のマンモグラフィ検査による乳がん検診をお勧めします。ほんの少しの勇気を出して、乳がん検診を受診下さい。有難うございました。

「女性に多い運動器疾患」

JCHO神戸中央病院 整形外科 久保田 迅是



紅葉日和の中、多数の方にお越しいただき、ありがとうございました。参加者の方々においては、熱心に講演を聞いてくださり、感謝いたします。運動器疾患は誰でも年齢とともに経験することが増え、特に寿命が長い女性にとっては、今後も大きな課題になっていくことが予想されます。深刻な状況になる前に、気軽に当院もしくはお近くの整形外科で相談していただければ、健康寿命を延ばす手助けができるのではないかと考えています。



次回予告

第17回 JCHO神戸中央病院 市民医療セミナー テーマ：「感染症は予防が大事」(仮)

日程：令和2年6月6日(土) 13時から

会場：すずらんホール(神戸市北区鈴蘭台西町1丁目26-1)





消化器癌薬物療法

ひと昔前は、手術で切除できない癌に対して多くの方が“あまり効かない”“副作用がきつい”といったイメージをお持ちだったがん薬物療法ですが、近年、副作用に対しても適切な対処をすることで十分に耐えられるよう工夫されており、また毎年のように新たな薬剤・新たな治療法が開発され、最も進歩著しい分野です。以前から使われている殺細胞性抗癌剤に加えて、特定の遺伝子変異やターゲット分子に対して効果を発揮する分子標的薬、またノーベル賞の受賞も記憶に新しい免疫チェックポイント阻害薬など、他臓器の固形腫瘍と同様に消化器癌の治療薬も多岐にわたります。

ほとんどの治療が外来通院で可能であり、仕事をしながら外来化学療法に通われる患者様も多数いらっしゃいます。当院での消化器癌薬物療法は患者数で80名を超え、年間370件以上で増加傾向にあり、食道・胃・大腸・膵・胆道に加え比較的希少な神経内分泌腫瘍などさまざまな癌腫に対応しております。各癌腫では約2年毎にガイドラインが改訂されますが、その合間にも新規治療薬・新規レジメンが承認されるため、化学療法委員会を通して常に最新で最良の治療をご提供できるよう努めております。

薬物療法の進歩により切除不能な消化器癌患者の予後も徐々に延びてきており、特に大腸癌では切除不能と診断されてから3～4年生存されることも珍しくない時代となってきました。患者さんご自身だけではなく、ご家族も含めて“治療を続けながら癌とともに生活する”ということ念頭に置き、生活環境にも配慮して他部署とも協力しながら、これからの人生を後悔なく過ごしていただけるよう、日々診療にあたっております。

第14回「神戸市北区医師会・JCHO神戸中央病院 医療連携セミナー」のご案内

テーマ：「眼科」と「耳鼻いんこう科」の診療の現在 in JCHO 神戸中央病院

日時：令和2年3月12日（木）19時～ 場所：当院 2階会議室

医療機関の先生方へ

時間外受診のお知らせ

時間外（17時～8時30分）・年末年始・土・日・祝日の緊急のご紹介は、**078-594-2211（代）**にお電話いただき救急外来をご指示ください。

救急外来のFAX番号は、**078-594-2255**です。事務職員が対応いたします。